

2024 年度「社会共生実習」

募集要項／プロジェクト紹介冊子

2016 年度以降入学生対象

「社会共生実習」とは、社会学部の全 3 学科が共同で運営する、地域連携型の実習科目です。社会学部の所属教員が毎年多様なプロジェクトを提供しており、社会学部の学生は所属学科を問わず希望するプロジェクトに参加申し込みをすることができます。

履修の可否を判定するため、事前登録を Web 上（ポータルサイトのアンケート）にて行っていただく必要があります。受講が認められると辞退ができないため、十分検討してから事前登録を行ってください。

社会状況や実習先の都合などにより、本冊子に記載しているプロジェクトの内容が変更になることがあります。しかし、その場合でも、同等の到達目標を達成するための取り組みをプロジェクトの担当教員と実習生でつくりあげていきます。

※実習は大学や学部の行動指針にもとづき運営されます。



【2024 年度「社会共生実習」を受講するまでの流れ】※詳細は p3-4 参照

1	本日	2024 年度開講予定の「社会共生実習」プロジェクト内容が記載された紹介冊子（本冊子）をもらう	※11/9 履修説明会にて配布
2	1/12(金) 11:00-12:30	2023 年度「社会共生実習」の活動報告会に参加する	会場：3-202
3	日程は裏面参照	2024 年度「社会共生実習」の個別履修相談会に参加する	
4	1/12(金) ～2/29(木)15:00 迄	事前登録（ポータルサイトのアンケート）をおこなう	
5	3 月上旬	受講可否判定結果発表を確認する	※ポータルサイトのお知らせにて発表

【社会共生実習支援室（6 号館 1 階 106 号室） TEL：077-544-7230 Mail：co-ex@ad.ryukoku.ac.jp】

目次

「社会共生実習」について	3
■2024 年度に開講するプロジェクトの紹介	3
■2024 年度「社会共生実習」履修説明会の開催について.....	3
■2023 年度「社会共生実習」活動報告会の開催について.....	3
■2024 年度「社会共生実習」個別履修相談会の開催について	3
■事前登録方法	3
■受講可否判定結果発表について	4
■その他の留意事項	4
■質問・問い合わせ先.....	4
2024 年度「社会共生実習」プロジェクト紹介	5
多文化共生のコミュニティ・デザイン～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～.....	6
コミュニティの情報発信！レク龍 プロジェクト	10
農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」	13
お寺の可能性を引き出そう！ー社会におけるお寺の役割を考えるー.....	17
いくつになっても、出かけられる！～高齢者を元気にする介護ツアー企画～	22
障がいがある子どもたちの放課後支援	28
自治体を PR してみる！	31
【2024 年度「社会共生実習」個別履修相談会について】	34

「社会共生実習」について

■2024 年度に開講するプロジェクトの紹介

2024 年度「社会共生実習」では、受講したいプロジェクトを以下①～⑦の中から3 つまで希望できます。各プロジェクトの概要は 5 ページ以降をご参照ください。

- ① 多文化共生のコミュニティ・デザイン～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～
- ② コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト
- ③ 農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」
- ④ お寺の可能性を引き出そう！ー社会におけるお寺の役割を考えるー
- ⑤ いくつになっても、出かけられる！ー高齢者を元気にする介護ツアー企画～
- ⑥ 障がいがある子どもたちの放課後支援
- ⑦ 自治体を PR してみる！

■2024 年度「社会共生実習」履修説明会の開催について

来年度開講されるプロジェクトや事前登録方法についての履修説明会が、2023 年 11 月 9 日（木）13:30～15:00（3 限）「現場主義入門」の授業内にて対面で開催されます。会場は 4 号館 209 講義室です。来年度、「社会共生実習」の受講を検討している方は事前登録方法をよく確認しておいてください。なお、他の授業と重複している場合は、後日ポータルサイトにてお知らせされるオンデマンド配信をご覧ください。

■2023 年度「社会共生実習」活動報告会の開催について

今年度開講されたプロジェクトの活動報告が、2024 年 1 月 12 日（金）11:00～12:30に開催されます。参加は任意ですが、どのような活動を行うのかがよくわかりますので是非ご参加ください。会場は 3 号館 202 講義室です。

■2024 年度「社会共生実習」個別履修相談会の開催について

来年度開講されるプロジェクト別の履修相談会が、2024 年 1 月 12 日（金）から随時開催されます。担当教員等に直接相談できる機会なので、ぜひご参加ください。各開催日時と会場は本冊子裏面をご覧ください。

■事前登録方法

通年の履修を求めているプロジェクトについては、2023 年度入学生（現 1 年生）は「IA・IB」、2022 年度入学生（現 2 年生）は「IIA・IIB」、2021 年度入学生（現 3 年生）は「IIIA・IIIB」というように、前後期を一括して登録します。半期開講プロジェクト・通年開講プロジェクトともに年度途中での辞退や追加は出来ません。いずれもポータルサイトのアンケート項目にある、『【重要】2024 年度「社会共生実習 IA～IIIB」事前登録について』にて、登録してください。アンケートは 2024 年 1 月 12 日（金）～2 月 29 日（木）15:00 までポータルサイトにアップされます。入力に時間がかかる可能性があるため、はやめの登録を心がけてください。

■受講可否判定結果発表について

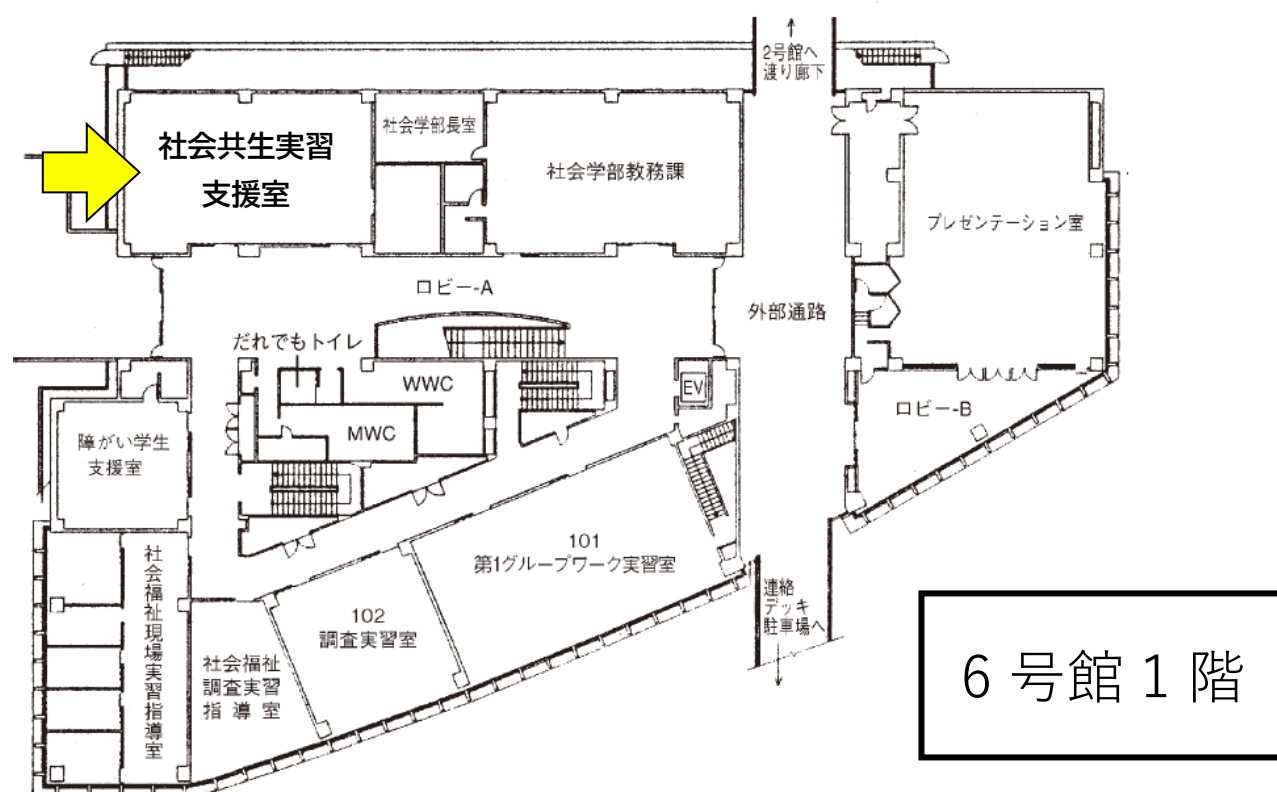
希望するいずれかのプロジェクトの受講を認められた学生に対しては、2024年3月上旬に、受講許可された旨と履修する上で重要な連絡がポータルサイトのお知らせにて発表されます。注意して確認してください。

■その他の留意事項

- * 本実習は、土・日・祝日及び休業期間の実習を伴うことがあります。5ページ以降の各プロジェクトの概要をよく読み、課外活動等を考慮の上、事前登録してください。
- * プロジェクトには、募集学生数の上限、下限が設定されています。受講希望者が下限を下回った場合は不開講となることもあります。あらかじめご了承ください。
- * 受講決定後は取り消しができないので、事前登録する前によく確認してください。

■質問・問い合わせ先

社会共生実習支援室 6号館1階106号室



【連絡先】

TEL : 077-544-7230

Mail : co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

開室時間 : 月、水～金 9:00～17:00、火 10:45～17:00

※ただし、会議や休業日で閉室している場合もあります。

開室時間を確認したい場合は事前にお問い合わせください。



2024 年度「社会共生実習」プロジェクト紹介



龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	多文化共生のコミュニティ・デザイン ～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～	
担当者名	川中大輔 ★連絡先／ kawanaka@soc.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	日本も既に多くの外国人が定住し、多文化社会になっている。ところが、日本は定住外国人にとって住みやすい社会なのかとさえ言え、そうではない。「言葉の壁・制度の壁・意識の壁」といった3つの壁が立ちはだかつて、生活の様々な場面で苦労をすることとなる。そこで、本プロジェクトでは京都の在日コリアンの方々と の交わりを中心に、多文化共生まちづくりの問題を具体的に捉えていき、その問題解決のための活動を企画・実践する。ダイバーシティの向上が、新たな社会をつくりだすチカラの増大につながるための方向性を一緒に考えていきたい。 ※本プロジェクトの活動では、外国語の運用能力は求められない。	
募集学生数	上限 15 名、下限 3 名	
活動場所	NPO 法人京都コリアン生活センター・エルファ、NPO 法人東九条地域活性化センター、希望の家児童館、京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 京都で在日コリアンが集住する地域の一つである東九条（京都市南区）において、「幅広い多文化共生」の実現をめざした活動を展開している NPO が連携先となる。高齢者支援や子ども・子育て支援、居場所づくりやまちづくり活動など、複数の分野をカバーしているので、受講生数や学生の問題意識に合わせてプロジェクトごとにパートナーを決定して実践に取り組むこととなる。	
到達目標と 成績評価方法	1 年目前期	1 年目後期
	第 3・5・7 セメスター	第 4・6・8 セメスター
	- 在日コリアンの方々の生活理解を中心に多文化共生社会に向けての現代的課題が概観できるようになる。 - その評価としては、活動日誌での記述の具体性と、期末プレゼンテーション発表の内容の明瞭さで判断する。	- 多文化共生まちづくりというテーマのもと、自分たちの「強み」を活かす形でのプロジェクト活動を実践できるようになる。 - その評価としては、プロジェクトの企画書と当日のパフォーマンスにおけるニーズ把握

※実習科目ですので、1 セメスターにつき 60 時間以上の実習（うち 40 時間は原則として学外）を要します。

		握の度合い、手法の適切さや独自性で判断する。
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	・ニューカマーの定住外国人への理解も含めて、多文化共生社会の実現に向けての政策的な課題が概観できるようになる。 ・その評価としては、活動日誌での記述の具体性と、期末レポートの記述の明瞭さで判断する。	・特定の生活課題をとりあげて、多文化共生社会実現のための政策提言をまとめられるようになり、そのことを社会発信できるようになる。 ・その評価としては、政策提言書の的確さを社会実験の検証結果で判断する。
	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
	・多文化共生まちづくりをめぐる各自の問題意識に則って、学術的にも意義のあるリサーチクエストを立って、現場と協働する形でのアクションリサーチのプランをつくれるようになる。 ・その評価としては、研究計画書の独自性と明瞭さ、実現性で判断する。	・現場と連携する形でのアクションリサーチを実行し、その結果を地域の方々にとって意味あるものとして発信できるようになる。 ・その評価としては、レポートにおける分析の明晰さと社会還元の度合いの高さで判断する。
	2024年度の活動スケジュール概要 1年目の学生 ・多文化共生の課題に関する基礎的な学習（渡来人歴史館やウトロ平和祈念館等への訪問含む） ・東九条地区や大阪市生野区等でのフィールドワーク ・東九条地区でのフィールドワーク／地域活動 ・問題解決プロジェクトの企画／実践 ・多文化共生の課題に関する発展的な学習 2年目の学生 ・多文化共生分野の政策動向に関する基礎的な学習	

	・ 京都, 大阪, 神戸でのフィールドワーク ・ 政策提言案の構想と社会実験, 検証と社会発信
系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に参 考にしてください)	活動日時は受講生がコミュニティ・パートナー(活動場所)の担 当者と調整をして決定することになるため, 特定の曜講時は設定 しない。
担当者からの メッセージ	「違いを認め合おう」というメッセージを否定する人は少ないで しょう。しかし, 「違い」の中には「守らないといけないもの(尊 重すべきもの)」もあれば, 「あってはならないもの(解消すべき もの)」もあります。尊重/解消すべき「違い」は何か。また, 解 消にあたって誰がどのように変化していくべきか。「違い」を生み 出す構造はどのようなものか。これらの問いに対して, 「現場」で の当事者の方々との対話と協働を通じて考えていきましょう。

「多文化共生のコミュニティ・デザイン～定住外国人にとって住みやすい日本になるには?～」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時まで下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☒	☒	☒	差別論	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	地域社会論	4	2	社会	
		☒	☒	☒	コミュニティ論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	多文化共生論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☐	☐	☐	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	都市社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	環境社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	地域と語り	1	2	CM	
		☐	☐	☐	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☐	☐	☐	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☐	☐	☐	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☐	☐	☐	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☒	☒	☒	コモンセンス論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☒	☒	☒	まちづくり論	4	2	CM	
		☒	☒	☒	生活問題論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会貢献論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	ボランティア論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☒	☒	☒	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☐	☐	☐	子ども社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☒	☒	☒	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☐	☐	☐	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	家族福祉論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	国際福祉論	4	2	福祉	
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会	2	
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☐			質的調査法	3	2	社会		
	☐			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☒			市民社会論	5	2	社会		
	☐			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☒		シティズンシップ論	1	2	CM	2	
		☐		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☐		地域と経済	3	2	CM		
		☐		地域と社会動態	3	2	CM		
		☐		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☐		質的調査法	3	2	CM		
		☐		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☒	地域福祉論	4	4	福祉	6	
			☐	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目				社会共生実習ⅠA	3	2	共通		
				社会共生実習ⅠB	4	2	共通		
				社会共生実習ⅡA	5	2	共通		
				社会共生実習ⅡB	6	2	共通		
				社会共生実習ⅢA	7	2	共通		
				社会共生実習ⅢB	8	2	共通		
合計									30

龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	コミュニティの情報発信！ レク龍 プロジェクト	
担当者名	久保和之 ★連絡先／ kazukubo@soc.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	社会の少子高齢化や情報化が進むとともにコロナ禍において、地方のレクリエーション協会では、スタッフの高齢化が進み、業務活動の継続が困難な状況が生じ始めている。社会的な組織の重要な業務の一つに広報活動があり、それを担う人材の育成が重要視されてきている。そこで、地方団体の広報活動について、実践を通して学んでいく。	
募集学生数	上限 6 名、下限 1 名	
活動場所	草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津） 大津市真野浜水泳場 木ノ本まちづくりセンター	
到達目標と 成績評価方法 ※実習科目ですので、1 セメ スターにつき 60 時間以上 の実習（うち 40 時間は原 則として学外）を要しま す。	1 年目前期	1 年目後期
	第 3・5・7 セメスター	第 4・6・8 セメスター
	広報活動の内容を学ぶ	広報活動の実際を体験する
	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。
	2 年目前期	2 年目後期
	第 5・7 セメスター	第 6・8 セメスター
	広報業務の問題点を探る	広報活動の問題点を改善する
	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。
	3 年目前期	3 年目後期
	第 7 セメスター	第 8 セメスター
	主体的な広報活動について考える	主体的な広報活動を実践する
	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。	成績は、実習への態度や参与状況によって評価します。

2024年度の 活動スケジュール 概要	1年目の学生 広報誌の事例を収集して分析する SNSの発信について学ぶ 情報収集、情報発信 HTMLの学習 自主事業企画運営補助 2年目の学生 記事を作成する 広報誌の編集補助をする 記事作成のために事業の取材をする 電子媒体での広報活動を学ぶ 広報用の写真や動画を撮影する 自主事業企画運営企画 3年目の学生 記事作成のために事業の取材をする 自主事業企画運営統括 9月 全員 全国レクリエーション大会参加
系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に 参考にしてください)	7月から11月までの毎月第一土曜日 二か月に一回程度で日曜日の夜 夏休みの平日に4日程度
担当者からの メッセージ	学外の様々な活動を通して社会の組織や団体の運営について学ぶ ことができます。大学では学べないことがたくさん経験できま す。 広報や企画運営について学びたい人は、挑戦してください。

「コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までにより下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☐	☐	☐	差別論	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	地域社会論	4	2	社会	
		☐	☐	☐	コミュニティ論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	多文化共生論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☒	☒	☒	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	都市社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	環境社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	地域と語り	1	2	CM	
		☒	☒	☒	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☐	☐	☐	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☒	☒	☒	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☐	☐	☐	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☐	☐	☐	コモンセンス論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☒	☒	☒	まちづくり論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	生活問題論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会貢献論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	ボランティア論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☐	☐	☐	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☐	☐	☐	子ども社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☐	☐	☐	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☐	☐	☐	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	家族福祉論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	国際福祉論	4	2	福祉	
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会	2	
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☐			質的調査法	3	2	社会		
	☐			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☐			市民社会論	5	2	社会		
	☒			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☐		シティズンシップ論	1	2	CM		
		☒		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☐		地域と経済	3	2	CM		
		☒		地域と社会動態	3	2	CM		
		☒		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☐		質的調査法	3	2	CM		
		☐		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☐	地域福祉論	4	4	福祉		
			☐	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目					社会共生実習ⅠA	3	2	共通	6
					社会共生実習ⅠB	4	2	共通	
					社会共生実習ⅡA	5	2	共通	
					社会共生実習ⅡB	6	2	共通	
					社会共生実習ⅢA	7	2	共通	
					社会共生実習ⅢB	8	2	共通	
合計					30				

龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	農福連携で地域をつなぐ ー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」	
担当者名	坂本清彦 ★連絡先／ a17248@mail.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	滋賀県栗東市で、農業を通じた障がい者が働き生きる場づくりなど「農福連携」事業を進めるNPO 縁活・おもやを拠点に、学生が農業生産・加工・販売、マルシェなど地域イベント、調査活動に参画する。特に2024年度は、障がい者も含めて多様な人々がつながり生き生きと暮らせる共生社会の実現に向けて、農福連携の取り組みとその意義を地域社会や大学関係者に知ってもらうためのさまざまなPR方策を検討し実践する。	
募集学生数	上限 8名、下限 1名	
活動場所	滋賀県栗東市・湖南市のおもや農園、農産物加工作業所、カフェ「オモヤキッチン」、おもやの農産物出荷先や農福連携事業先など	
到達目標と 成績評価方法	1年目前期	1年目後期
	第3・5・7セメスター	第4・6・8セメスター
	縁活おもやの農業関連活動や地域イベントへの参画を通じ、現場状況を把握し、関係者から話を聞ける関係を築く。毎回の実習活動ログに記録した学びや取り組み姿勢を評価する。	事業参画に加えて関係者への聞き取り等も交え、農福・地域連携上の課題を抽出し、解決方策を策定、報告する。活動ログと報告書から実習からの学びと取り組み姿勢を評価する。
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	事業に参画しつつ、農福連携の認知度向上のための取り組み企画において主体的な役割を果たせる。1年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを発揮できる。実施計画と活動ログに記録した学びや取り組み	事業に参画しつつ、前期に策定した農福連携の認知度向上の取り組みの実施及び関係者への聞き取り等による効果検証・報告において主体的な役割を果たせる。1年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップ

※実習科目ですので、1セメスターにつき60時間以上の実習（うち40時間は原則として学外）を要します。

	み姿勢を評価する。	を發揮できる。活動ログと報告書から実習からの学びと取り組み姿勢を評価する。
	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
	事業に参画しつつ、農福連携の認知度向上のための取り組み企画において主体的・指導的な役割を果たせる。1・2年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを發揮できる。実施計画と活動ログに記録した学びや取り組み姿勢を評価する。	事業に参画しつつ、前期に策定した農福連携の認知度向上の取り組みの実施及び関係者への聞き取り等による効果検証・報告において主体的・指導的な役割を果たせる。1・2年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを發揮できる。活動ログと報告書から実習からの学びと取り組み姿勢を評価する。
2024年度の 活動スケジュール 概要	1年目の学生 前期は縁活おもやの農作業は地域イベントに参画し、担当教員とともに受入れ先の状況把握や関係者との信頼構築を図ります。実習生の顔を覚えてもらう、話を聞ける関係を築くことをめざします。後期は、おもや及び滋賀県内の農産物出荷先の調査、農福連携事業への参画を通じ、農福連携事業の概要、課題把握と解決に向けた提言策定を図ります。前期後期を通じて、おもやや関連組織の方々への聞き取りや農作業時の参与観察を行い、社会調査のスキルアップを目指します。	
	2年目の学生 1年目の受講生と共に引き続おもやにおける活動に参画し、後輩受講生の学修支援をしつつ、前年度までの経験をふまえて農福連携事業における課題解決に向けた活動の提案、実践を行います。	
	3年目の学生 1、2年目の受講生と共に引き続おもやにおける活動に参画し、後輩受講生の学修支援をしつつ、前年度までの経験をふまえて農福連携事業における課題解決に向けた活動の提案、実践を行います。あわせて卒業後の進路において本実習で学んだことを活用す	

	ることを念頭に、調査・企画・プレゼンテーションなどの内容を担当教員と検討し実施します。
系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に 参考にしてください)	毎週金曜日 1・2 講時の時間帯
担当者からの メッセージ	農福連携の取り組みはここ 10 年の間に国内で急速に広まりましたが、その潜在的なチカラや価値が十分に発揮されているとは言えません。就労機会の少ない障がい者を人手不足の農業労働力にするという農福連携のこれまでのあり方を超えて、多様な人々が「生きる営み」である農業を介して地域社会つなり、SDGs（持続可能な開発目標）にも沿った誰が生きと暮らせる共生社会につながる農福連携のあり方が求められています。そうした地域社会の実現に向けた課題把握と解決方策提言を、生々しい現場経験、堅固な調査・分析、ファシリテーション的手法を生かしながら進めていきます。

「農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいいきと暮らせる共生社会に向けて」」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までには下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☒	☒	☒	差別論	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	地域社会論	4	2	社会	
		☒	☒	☒	コミュニティ論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	多文化共生論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☒	☒	☒	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	都市社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	環境社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	地域と語り	1	2	CM	
		☒	☒	☒	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☒	☒	☒	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☒	☒	☒	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☒	☒	☒	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☒	☒	☒	社会運動論	6	2	社会	
		☒	☒	☒	コモンセンス論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☒	☒	☒	まちづくり論	4	2	CM	
		☒	☒	☒	生活問題論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会貢献論	3	2	福祉	
		☒	☒	☒	ボランティア論	3	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☒	☒	☒	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☒	☒	☒	子ども社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☒	☒	☒	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☒	☒	☒	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	家族福祉論	3	2	福祉	
		☒	☒	☒	国際福祉論	4	2	福祉	
学科指定科目		☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会	2
		☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会	
		☒			質的調査法	3	2	社会	
		☒			量的調査法	4	2	社会	
		☐			民俗学	5	2	社会	
		☒			市民社会論	5	2	社会	
		☐			観光社会学	6	2	社会	
学科指定科目			☒		シティズンシップ論	1	2	CM	
			☐		地域スポーツ論	2	2	CM	
			☒		地域と経済	3	2	CM	
			☒		地域と社会動態	3	2	CM	
			☐		地域社会とメディア	3	2	CM	
			☒		質的調査法	3	2	CM	
			☒		量的調査法	4	2	CM	
学科指定科目				☒	地域福祉論	4	4	福祉	6
				☒	社会福祉調査論	4	2	福祉	
実習科目					社会共生実習ⅠA	3	2	共通	
					社会共生実習ⅠB	4	2	共通	
					社会共生実習ⅡA	5	2	共通	
					社会共生実習ⅡB	6	2	共通	
					社会共生実習ⅢA	7	2	共通	
					社会共生実習ⅢB	8	2	共通	
その他の科目		☒	☒	☒	農業入門ー食と農の理解ー	1	2	共通	
合計									30

龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	お寺の可能性を引き出そう！ —社会におけるお寺の役割を考える—	
担当者名	猪瀬優理 ★連絡先／ inose-y@soc.ryukoku.ac.jp 古莊匡義 ★連絡先／ tfuruso@soc.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	本実習は、寺院を中心にした地域でのさまざまな社会活動をテーマとする、課題発見・課題探求型の実習です。 近年、こども食堂や高齢者向けのサロンなど、地域のつながりや居場所を作るためのさまざまな社会活動がお寺を拠点に行われています。その中には、お寺や仏教と深いつながりをもたない人が、お寺という場所を使って行う活動もあります。コンビニよりもたくさんあるお寺は、仏教の信仰をもたない人にとっても社会活動の拠点となる可能性を秘めています。 そこで、前期の実習では実習生にお寺の可能性を体験的、主体的に知ってもらうことを目指します。現場実習では、寺院における実際の社会活動に参加します。授業では、教員と共同で寺院を中心とする社会活動について調べます。そして、実習生の関心に合う活動を発見して、その活動に実際に参加しながら体験的に学べる企画を立ててもらいます。 後期には、前期での学びを生かして、現代社会のなかでお寺の可能性をさらに引き出せる活動を企画して、実施してもらいます。内容は受講生の関心によりますが、実習先でのイベント企画や、詳細な社会調査、あるいは探究した内容を共有するワークショップの実施などが活動の一例となります。	
募集学生数	上限 12 名、下限 2 名	
活動場所	浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室 京都・滋賀の寺院等（実習を進めるなかで実習生と具体的に連携先を決めていく）	
到達目標と 成績評価方法	1 年目前期	1 年目後期
	第 3・5・7 セメスター	第 4・6・8 セメスター
	各実習先の活動に主体的に参画し、社会の中でのお寺の可能性を知るための企画の立案に積極的に参加できる。成績は、実習	他の実習生と協働しながら、実習生が行う活動の立案と実施に貢献できる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立

※実習科目ですので、1 セメスターにつき 60 時間以上の実習（うち 40 時間は原則として学外）を要します。

	参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。	案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	各実習先の活動に主体的に参画し、実習先とコミュニケーションを取りながら、社会の中での活動の可能性を知るための企画の立案を主導できる。成績は、実習参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。	他の実習生や実習先の方々と協働しながら、実習生が行う活動の立案と実施を主導できる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。
	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
	日本社会の諸問題を念頭に置きつつ、各実習先での活動も踏まえながら、社会の中での活動の可能性を知るための企画を立案できる。成績は、実習参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。	実習先と連携を取って、企画を立案し実施することによって、お寺の新たな可能性について提案し、お寺や仏教と深いつながりをもたない人にも伝えることができる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。
	1年目の学生 【前期】 お寺での実際の社会活動に参加する学外実習（3～4回）、外部講師2名による特別講義（うち1回は学生が講師を探して講演を企画する）を実施します。実習とその事前・事後学習を通して、	
2024年度の活動スケジュール概要		

社会の中でお寺が果たせる役割や可能性について知ることを目指します。

さらに、お寺の地域での取り組みについてさらに知りたいお寺を探し、お寺の取り組みやその背景にある考え方を深く知るためのフィールドワークを、グループに分かれて企画し、実施します。

【夏休み】

前期に実習で訪問したお寺の活動や、講義を聴いた方の活動に参加しながら、後期に実習生で行う活動の企画を考えます。

夏休みのオープンキャンパスで、前期の実習の学びから得たことをまとめて、社会の中でお寺が果たす役割について高校生に伝える発表を行います。

【後期の前半】

前期・夏休みの活動を踏まえて、10月までに実習生で実施する活動を計画します。必要であれば、実習生に探してもらった外部講師と議論をしながら、計画を固めることができます。

【後期の後半】

活動を実施する準備を行い、何らかの企画や、調査に基づく提案を行います（外部から講師を呼ぶこともできます）。企画や調査・提案の内容は、受講生の関心に沿って決定し、教員は内容に合わせて調査方法やイベント開催のノウハウなどを随時助言します。

企画や提案が完了した後に、実習での学びをまとめるために実習報告会で発表を行い、実習報告書を作成します。

2年目、3年目の学生

2年目、3年目の学生は、1年目の学生の学修をサポートしながら学びを深めるとともに、自身の1年目の学修で取り組んだ企画やその発想をより幅広いところから捉えなおし、深めていき、その成果を広く伝える活動を継続していきます。

系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に参 考にしてください)	毎週金曜2講時に活動を行う。 フィールドワークは土曜日、日曜日になる場合が多い
担当者からの メッセージ	仏教を信じている人でなくても、お寺でさまざまな活動をしている方がたくさんいます。フランクでオープンなお寺も増えています。お寺や仏教に関心のない方でも、たとえば地域活性化やこども食堂など、いろいろなことをやってみたい、そのときお寺が使えるかなと思ったら、ぜひこの実習に参加してみてください。

「お寺の可能性を引き出そう！—社会におけるお寺の役割を考える—」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時まで下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☐	☐	☐	差別論	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	地域社会論	4	2	社会	
		☒	☒	☒	コミュニティ論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	多文化共生論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☒	☒	☒	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	都市社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	環境社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	地域と語り	1	2	CM	
		☐	☐	☐	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☐	☐	☐	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☒	☒	☒	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☒	☒	☒	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☐	☐	☐	コモンセンス論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☒	☒	☒	まちづくり論	4	2	CM	
		☒	☒	☒	生活問題論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会貢献論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	ボランティア論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☐	☐	☐	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	家族社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	現代宗教論	5	2	社会	
		☒	☒	☒	子ども社会学	5	2	社会	
		☒	☒	☒	寺院活動論	4	2	CM	
		☒	☒	☒	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☐	☐	☐	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☐	☐	☐	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	家族福祉論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	国際福祉論	4	2	福祉	
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会		
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☒			質的調査法	3	2	社会		
	☒			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☐			市民社会論	5	2	社会		
	☐			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☐		シティズンシップ論	1	2	CM	2	
		☐		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☒		地域と経済	3	2	CM		
		☒		地域と社会動態	3	2	CM		
		☐		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☒		質的調査法	3	2	CM		
		☒		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☐	地域福祉論	4	4	福祉	6	
			☒	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目				社会共生実習ⅠA	3	2	共通		
				社会共生実習ⅠB	4	2	共通		
				社会共生実習ⅡA	5	2	共通		
				社会共生実習ⅡB	6	2	共通		
				社会共生実習ⅢA	7	2	共通		
				社会共生実習ⅢB	8	2	共通		
合計									30

龍谷大学社会学部
2024 年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	いくつになっても、出かけられる！ ～高齢者を元気にする介護ツアー企画～	
担当者名	高松 智画	
プロジェクトの概要	介護が必要な高齢者が楽しんでもらえる日帰りツアーの企画から実施、評価を行います。そのために、基本的な介護技術を習得するとともに、高齢者とのコミュニケーションなどを通じて、道路、交通、生活環境に関する問題や課題、日常生活上の困りごとなどについて考察します。それらをふまえて旅行プランを作成しますが、下見やプレゼンでのフィードバックを重ねて練り上げていきます。 また、参加者募集も学生自ら行います。参加者とは旅行実施までに面談を行い、当日に備えます。ツアー終了後は、プレゼン等によるふりかえりを行うとともに、ツアー参加者に贈呈する記念品を作成します。 なお、後期開講のため授業期間中にツアー実施の時間を確保することが困難であること、天気や気温などがツアー実施により適した時期を選ぶ必要があることから、ツアーの実施から振り返り等の総括は3月中に実施します。	
募集学生数	上限 12 名、下限 5 名	
活動場所	大津市・京都市を中心とする観光地 龍谷大学周辺の高齢者福祉施設 ツアー参加希望者の自宅 等	
到達目標と 成績評価方法	1 年目前期	1 年目後期
	第 3・5・7 セメスター	第 4・6・8 セメスター
	※実習科目ですので、1 セメスターにつき 60 時間以上の実習（うち 40 時間は原則として学外）を要します。	到達目標） ・高齢者の生活課題を理解し、喜ばれる介護ツアーを企画・実施し、その意義と課題についてプレゼンテーションができるようになる。 内容） ・高齢者の身体的・精神的理解

		のための学習 ・バリアフリー・介護保険に関する学習 ・高齢者とのコミュニケーション（日常生活での困りごと等の ・ツアーの目的、プランのポイント、実施例等についての学習 ・車いすの操作や動作の介護等の実習 ・グループに分かれてツアープラン（行先、行程）の作成 ・作成したプランの下見とプランの修正 ・ツアープランプレゼンとツアープランへのフィードバック ・ツアープランの決定とフライヤーの作成 ・広報・募集 ・参加者との面談によるツアー行程についての打ち合わせ（介護内容、注意事項等の確認） ・連携が必要な専門職との情報共有 ・ツアーの実施 ・ツアーのふりかえり（成果と問題点、今後の課題についての考察しレポートを作成） ・パネル展示 ・参加者への記念品を作成し届ける 成果評価方法） ・コミュニケーション能力、社会課題への理解度、プレゼンテーション力により総合的に評価する。
--	--	--

	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
		到達目標) ・高齢者の生活課題を理解し、喜ばれる介護ツアーを企画・実施し、その意義と課題についてプレゼンテーションができるようになる。 内容) ・高齢者の身体的・精神的理解のための学習 ・バリアフリー・介護保険に関する学習 ・高齢者とのコミュニケーション（日常生活での困りごと等の ・ツアーの目的、プランのポイント、実施例等についての学習 ・車いすの操作や動作の介護等の実習 ・グループに分かれてツアープラン（行先、行程）の作成 ・作成したプランの下見とプランの修正 ・ツアープランプレゼンとツアープランへのフィードバック ・ツアープランの決定とフライヤーの作成 ・広報・募集 ・参加者との面談によるツアー行程についての打ち合わせ（介護内容、注意事項等の確認） ・連携が必要な専門職との情報共有 ・ツアーの実施 ・ツアーのふりかえり（成果と問題点、今後の課題についての考察しレポートを作成） ・パネル展示

		・参加者への記念品を作成し届ける 成果評価方法) ・コミュニケーション能力、社会課題への理解度、プレゼンテーション力により総合的に評価する。
	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
		到達目標) ・高齢者の生活課題を理解し、喜ばれる介護ツアーを企画・実施し、その意義と課題についてプレゼンテーションができるようになる。 内容) ・高齢者の身体的・精神的理解のための学習 ・バリアフリー・介護保険に関する学習 ・高齢者とのコミュニケーション（日常生活での困りごと等の ・ツアーの目的、プランのポイント、実施例等についての学習 ・車いすの操作や動作の介護等の実習 ・グループに分かれてツアープラン（行先、行程）の作成 ・作成したプランの下見とプランの修正 ・ツアープランプレゼンとツアープランへのフィードバック ・ツアープランの決定とフライヤーの作成 ・広報・募集 ・参加者との面談によるツアー行程についての打ち合わせ（介

		護内容、注意事項等の確認) ・連携が必要な専門職との情報共有 ・ツアーの実施 ・ツアーのふりかえり（成果と問題点、今後の課題についての考察しレポートを作成） ・パネル展示 ・参加者への記念品を作成し届ける 成果評価方法) ・コミュニケーション能力、社会課題への理解度、プレゼンテーション力により総合的に評価する。
2024 年度の活動スケジュール概要	1 年目の学生 2 年目の学生 3 年目の学生 9月～10月 ツアープラン作成に関する基礎的知識の修得（講義と実習） 10月 ツアープランの作成（下見などグループ活動） 11月 ツアープランのプレゼンと修正を経て、決定 12月 広報・募集に関する学習と実習 1月 参加者の募集 2月 参加者募集、面談による打ち合わせ 3月 ツアー実施 ツアーのふりかえり（レポート、ポスターの作成） 参加者への記念品の作成・贈呈	
系統履修すべき科目の紹介	次頁参照	
主な活動曜講時（時間割を組む際に参考にしてください）	施設見学や下見のための学外実習は、参加者の都合に合わせて調整します。	
担当者からのメッセージ	ツアーの企画・実施、高齢者仲間づくりやコミュニケーションに興味、関心のある人たちは是非参加してもらいと思います。 そして、社会・CM・現代福祉それぞれの学科の強みを生かした協力・働ができればと考えています。	

「いくつになっても、出かけられる！～高齢者を元気にする介護ツアー企画～」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時まで下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☐	☐	☐	差別論	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	地域社会論	4	2	社会	
		☒	☒	☒	コミュニティ論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	多文化共生論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☒	☒	☒	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	都市社会学	4	2	社会	
		☒	☐	☐	環境社会学	4	2	社会	
		☐	☒	☐	地域と語り	1	2	CM	
		☐	☐	☒	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☒	☒	☒	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☐	☐	☐	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☐	☐	☐	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☐	☐	☐	コモンセンス論	2	2	CM	
		☒	☒	☒	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☐	☐	☐	まちづくり論	4	2	CM	
		☒	☒	☒	生活問題論	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会貢献論	3	2	福祉	
		☒	☒	☒	ボランティア論	3	2	福祉	
		☒	☒	☒	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☐	☐	☐	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☐	☐	☐	子ども社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☒	☒	☒	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☐	☐	☐	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☒	☒	☒	家族福祉論	3	2	福祉	
☐	☐	☐	国際福祉論	4	2	福祉			
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会		
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☐			質的調査法	3	2	社会		
	☒			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☐			市民社会論	5	2	社会		
	☒			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☐		シティズンシップ論	1	2	CM	2	
		☐		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☒		地域と経済	3	2	CM		
		☐		地域と社会動態	3	2	CM		
		☐		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☐		質的調査法	3	2	CM		
		☒		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☒	地域福祉論	4	4	福祉		
			☒	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目					社会共生実習ⅠA	3	2	共通	6
					社会共生実習ⅠB	4	2	共通	
					社会共生実習ⅡA	5	2	共通	
					社会共生実習ⅡB	6	2	共通	
					社会共生実習ⅢA	7	2	共通	
					社会共生実習ⅢB	8	2	共通	
合計									30

龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	障がいがある子どもたちの放課後支援	
担当者名	土田美世子 ★連絡先／ mtsuchi@soc.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	半期(前期)開講のプログラム。 週1回(月・火・水・木・金のいずれか)の午後、および土曜日(1～2回)、放課後等デイサービスで、実習を実施する(5回～8回程度)。障がいがある子どもとの実際の関わり・活動・学びを授業で共有し、地域共生社会について理解を深める。 基本的に一人の支援対象児を通じて、具体的な関わり方、より良い支援のありかた、障がいのある子ども、その保護者にとっての共生社会の在り方について考察する。	
募集学生数	上限 10 名、下限 1 名	
活動場所	放課後等デイサービス「ゆにこ」(大津市神領、瀬田、草津市青池のいずれか)＊ゆにこ神領は、瀬田学舎からバス 5 分程度	
到達目標と 成績評価方法 ※実習科目ですので、1 セメスターにつき 60 時間以上の実習（うち 40 時間は原則として学外）を要します。	1 年目前期	1 年目後期
	第 3・5・7 セメスター	第 4・6・8 セメスター
	プログラムの参加と、まとめ(ゆにこ参加児童の「実習での関りのまとめ」、および「共生社会の形成に向けて」の考察(p.p.)の提出	
	2 年目前期	2 年目後期
	第 5・7 セメスター	第 6・8 セメスター
	プログラムの参加と、まとめとして課す「ユニバーサルデザインについて」の提出	
	3 年目前期	3 年目後期
	第 7 セメスター	第 8 セメスター
	プログラムの参加と、まとめとして課す「子どもの自立支援計画書」の提出	

2024年度の 活動スケジュール 概要	1年目の学生 5月初旬まで、実習参加に向けての準備を実施する。週1回の実習参加後は、実習での学び、感じた疑問や課題を学内で整理し、考察を深める。 2年目の学生 2週目から実習に入り、実習先及び実習担当からスーパーバイズを受け、それぞれの実習課題について計画を立て、実践する。 3年目の学生 2週目から実習に入り、実習先及び実習担当からスーパーバイズを受け、それぞれの実習課題について計画を立て、実践する。
系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に 参考にしてください)	受講希望者は、2024年度の時間割を組む際にできるだけ、月・火・水・木・金のいずれか1日、3・4・5講時に授業を入れない曜日(実習に行ける日)を作ってほしい(平日の午後に実習に行くことが困難な場合は、土曜日、夏休みの実習になる)。 金曜日2講時は、実習のオリエンテーション、「ゆにこ」関係者からの講話、実習の振り返り等、受講者全員で授業を行う。
担当者からの メッセージ	半期の短い期間になりますが、子どもたちとの交流は心から楽しめると思います。その楽しさの先で、様々な学びを得てください。実習は、1か所につき、1日当たり1名～3名で行います。 大学では、実習経験をもとに行動分析を基本として子どもとの関わり方を考察し、必要に応じて関わり方の指導もします。 障がいがある子どもとの関わりに関心がある方なら、経験者も初めての方も、歓迎します。

「障がいがある子どもたちの放課後支援」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時まで下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☒	☒	☒	差別論	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	地域社会論	4	2	社会	
		☐	☐	☐	コミュニティ論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	多文化共生論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☐	☐	☐	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	都市社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	環境社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	地域と語り	1	2	CM	
		☐	☐	☐	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☐	☐	☐	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☒	☒	☒	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☐	☐	☐	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☐	☐	☐	コモンセンス論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☐	☐	☐	まちづくり論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	生活問題論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会貢献論	3	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☐	☐	☐	ボランティア論	3	2	福祉	4
		☐	☐	☐	社会企業論	4	2	福祉	
		☐	☐	☐	エスニシティ論	4	2	社会	
		☐	☐	☐	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☐	☐	☐	子ども社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☐	☐	☐	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☒	☒	☒	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会	2	
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☐			質的調査法	3	2	社会		
	☐			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☐			市民社会論	5	2	社会		
	☐			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☐		シティズンシップ論	1	2	CM	2	
		☐		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☐		地域と経済	3	2	CM		
		☐		地域と社会動態	3	2	CM		
		☐		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☐		質的調査法	3	2	CM		
		☐		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☐	地域福祉論	4	4	福祉	6	
			☐	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目				社会共生実習ⅠA	3	2	共通		
				社会共生実習ⅠB	4	2	共通		
				社会共生実習ⅡA	5	2	共通		
				社会共生実習ⅡB	6	2	共通		
				社会共生実習ⅢA	7	2	共通		
				社会共生実習ⅢB	8	2	共通		
合計					30				

龍谷大学社会学部
2024年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	自治体をPRしてみる！	
担当者名	岸本文利 ★連絡先／ fkishi@soc.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	自治体の広報現場に入って、映像ツールで自治体をアピールする。まず映像作成の基本スキルである撮影と編集の基本をプロに指導してもらい、習得。そして2人または1人1チームで事前に自治体の特色、課題を頭に入れて、何がアピールできるのかのネタを自治体職員と協力して探す。誰に見てもらうのかを想定し、そのネタの中から映像化して面白そうなものを選び、3～5分の映像作品を作成。それを自治体HPなどで実際に発信してもらう。その反響を確認し、広報の在り方を考える。2、3年目はより高度な内容でPR映像作品を制作する。	
募集学生数	上限 16名、下限 2名	
活動場所	大阪府門真市及び滋賀県高島市畑地区	
到達目標と 成績評価方法 ※実習科目ですので、1セメスターにつき60時間以上の実習（うち40時間は原則として学外）を要します。	1年目前期	1年目後期
	第3・5・7セメスター	第4・6・8セメスター
	ガイダンス及び撮影・編集の基本スキルの習得 門真市現地視察・市長表敬訪問 及びPRネタの事前調査・ネタ決め、撮影。	撮影および編集
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	ガイダンス及びドローン撮影スキルの習得及び高島市現地視察 ネタの事前調査、撮影 ショートコンテンツの制作 PRプロデューサー業務	5分程度の作品の完成 PRプロデューサー業務

	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
	門真市及び高島市畑地区 PR プロデューサー業務 1, 2 年目の学生のアドバイザー	門真市及び高島市畑地区 PR プロデューサー業務 1, 2 年目の学生のアドバイザー
2024年度の活動スケジュール概要	1 年目の学生 前期 撮影編集基本スキルの習得、夏休み撮影 後期 編集、動画完成 2 年目の学生 プロデューサー業務の場合 通年 高島市でのコンテンツ制作の発案・管理 コンテンツ動画制作の場合 前期 高島市でのショートコンテンツ動画の制作 後期 高島市での 5 分程度のコンテンツ動画の制作 3 年目の学生 通年 門真市及び高島市プロデューサー業務 及び 1, 2 年目学生のアドバイザー	
系統履修すべき科目の紹介	次頁参照	
主な活動曜講時 (時間割を組む際に参考にして下さい)	前期、事前調査ではチームで入りますが、他の授業にかぶらないように注意してスケジュールを調整してください。ネタによっては土日に入ることも検討してください。後期は編集に集中するため対面でなく各自で行い、期日までに完成動画を提出してもらいます。	
担当者からのメッセージ	決して楽ではない実習ですが、実際に社会に出た時と同じように取材先との交渉や動画作成を学べます。また、完成動画はアップしますので、問題がある場合は修正していただく必要がありますが、それは社会では当たり前の作業です。企業広報として即戦力の PR の本質を知ってもらいます。	

「自治体をPRしてみる！」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までにより下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分		社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください
基礎科目		☒	☒	☒	現場主義入門	2	2	共通	2
		☒	☒	☒	差別論	3	2	社会	6
		☒	☒	☒	地域社会論	4	2	社会	
		☒	☒	☒	コミュニティ論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	多文化共生論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	コミュニティデザイン	4	2	福祉	
発展科目	地域社会の理解	☐	☐	☐	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		☒	☒	☒	都市社会学	4	2	社会	
		☒	☒	☒	環境社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	地域と語り	1	2	CM	
		☐	☐	☐	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	☐	☐	☐	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		☐	☐	☐	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		☐	☐	☐	NPO・NGO論	3	2	社会	
		☒	☒	☒	地域再生の社会学	5	2	社会	
		☐	☐	☐	社会運動論	6	2	社会	
		☐	☐	☐	コモンセンス論	2	2	CM	
		☐	☐	☐	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		☐	☐	☐	まちづくり論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	生活問題論	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会貢献論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	ボランティア論	3	2	福祉	
		☐	☐	☐	社会企業論	4	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	☐	☐	☐	エスニシティ論	4	2	社会	4
		☐	☐	☐	家族社会学	4	2	社会	
		☐	☐	☐	現代宗教論	5	2	社会	
		☒	☒	☒	子ども社会学	5	2	社会	
		☒	☒	☒	寺院活動論	4	2	CM	
		☐	☐	☐	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		☒	☒	☒	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		☐	☐	☐	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		☐	☐	☐	家族福祉論	3	2	福祉	
学科指定科目	☐			社会統計学Ⅰ	2	2	社会	2	
	☐			社会統計学Ⅱ	3	2	社会		
	☐			質的調査法	3	2	社会		
	☐			量的調査法	4	2	社会		
	☐			民俗学	5	2	社会		
	☐			市民社会論	5	2	社会		
	☐			観光社会学	6	2	社会		
学科指定科目		☐		シティズンシップ論	1	2	CM		
		☐		地域スポーツ論	2	2	CM		
		☐		地域と経済	3	2	CM		
		☐		地域と社会動態	3	2	CM		
		☐		地域社会とメディア	3	2	CM		
		☐		質的調査法	3	2	CM		
		☐		量的調査法	4	2	CM		
学科指定科目			☐	地域福祉論	4	4	福祉		
			☐	社会福祉調査論	4	2	福祉		
実習科目					社会共生実習ⅠA	3	2	共通	6
					社会共生実習ⅠB	4	2	共通	
					社会共生実習ⅡA	5	2	共通	
					社会共生実習ⅡB	6	2	共通	
					社会共生実習ⅢA	7	2	共通	
					社会共生実習ⅢB	8	2	共通	
合計									30

【2024 年度「社会共生実習」個別履修相談会について】

プロジェクト別での履修相談会が下表のとおり開催されます。★印がついている担当教員は、別途、問い合わせに対応くださいます。連絡先は、各プロジェクトの紹介ページにある担当者名欄で確認してください。

プロジェクト名	担当 教員	開催日時【会場】		
		※社会共生実習支援室は 6 号館 1 階の社会学部教務課横にあります		
①多文化共生のコミュニティ・デザイン ～定住外国人にとって 住みやすい日本になるには？～	川中 大輔 ★	1/18(木) 12：00-13：30 【社会共生実習支援室】		
②コミュニティの情報発信！ レク龍 プロジェクト	久保 和之 ★	1/18(木) 12:45-13:15 【社会共生実習支援室】	1/19(金) ●10:00-10:45, 12:45-13:15 【社会共生実習支援室】 ●11:00-12:30 【6-B108L】	
③農福連携で地域をつなぐ ー「地域で誰もがいきいきと 暮らせる共生社会に向けて」	坂本 清彦 ★	1/12(金) 活動報告会終了後-16:45 【社会共生実習支援室】	1/15(月) 15:15-16:45 【社会共生実習支援室】	
④お寺の可能性を引き出そう！ ー社会における お寺の役割を考えるー	猪瀬 優理 ★	(相談会は開催せず、随時、連絡先への問い合わせに対応します)		
	古莊 匡義 ★			
⑤いくつになっても、出かけられる！ ～高齢者を元気にする 介護ツアー企画～	高松 智画	1/12(金) 活動報告会終了後-15:00 【社会共生実習支援室】	1/16(火) 12:30-15:00 【社会共生実習支援室】	1/19(金) 12:30-13:30 【社会共生実習支援室】
⑥障がいがある子どもたちの放課後支援	土田 美世子 ★	1/17(水) 12:30-13:30 【社会共生実習支援室】		
⑦自治体を PR してみる！	岸本 文利 ★	1/11(木) 12:30-13:00 【3-306】	1/12(金) 活動報告会終了後-13:10 【3-306】	